



ものしりコーナー

(俳祖守武翁顕彰会 編集 「荒木田守武」より抜粋)

荒木田 守武【あらきだ もりたけ】

俳句といえはほとんどの人は松尾芭蕉を思いうかべるかもしれませんが、芭蕉より150年も前に活躍した荒木田守武を知っていますか？

守武は、文明5年(1473年)伊勢市宇治に生まれました。

五七五、七七と続ける連歌から五七五で俳諧の世界を作り、世界でもっとも短い文学としたのがこの人で「俳祖」といわれます。それを芸術的に高めたのが芭蕉で「俳聖」といわれます。



守武肖像(守武世中百首絵抄所収)

さのみ心に世をなひとひそ
猶ふかくたづねば山のおくもなし

『世中の親に孝ある人はただ
何につけてもたのもしきかな』

この世の中で親に孝行している人は、すべてにつけて頼もしいものですよ。

(あなたは親に心配をかけてませんか。親に安心していただくのがまず孝行ですよ。)

荒木田守武は内宮宇治橋前の宇治神社にまつられています。

市の花・木・鳥

花 ジングウツツジ

神宮林の中で発見されたことから名づけられました。ミツバツツジの仲間です。三重県、愛知県、静岡県で見られます。5月から6月にかけて、濃いピンク色の花をつけます。



木 オヤネザクラ

国指定史跡・旧豊宮崎文庫に生えている桜。毎年桜のシーズンに公開されています。昭和3年に発表されたヤマザクラの新種。



鳥 イソヒヨドリ

25cmほどの大きさで鳴き声が美しい鳥。オスとメスでは羽の色が違います。磯や海岸部にいますが、最近では町中でも見られるようになりました。

